



救急車の適正利用をお願いします！

本市では、平成26年中に3,993件(1日平均10.9件)の救急車出場がありました。実際に医療機関へ搬送された人数は、3,666人で、そのうち1,302人(全体の35.5%)は入院する必要のない軽症者です。救急車は、深刻な事態で急を要する方を搬送するためのものです。一人でも多くの命を救うために、協力をお願いします。



こんな症状が見られたら、ためらわず救急車を！

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつが回りにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざる
- または、真っ黒い便が出る

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしていたり)
- ぐったりしている

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識が戻らない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故に遭った(強い衝撃を受けた)
- 水に溺れている
- 高い所から落ちた

アキレス腱の損傷にご注意を！

運動会や球技大会などスポーツの盛んな時季ですが、同時に、競技中のけがによる救急車の要請も増加します。なかでも重症なのが、アキレス腱の断裂です。アキレス腱を断裂すると、日常生活に支障をきたし、完治まで1年以上かかる場合もあります。

原因

- 急激な伸縮(跳ぶ、急に止まる)で、強い力がかかり発生
- 30代前半からアキレス腱が老化し始めることで、柔軟性が失われ発生
- 寒い時季は、体が温まりにくいことで、発生率が高まる

予防法

- ウォーミングアップを入念に。特に、足首のストレッチは時間をかけて行う
- 足に合っていない靴は履かない
- 普段からアキレス腱付近の痛みを感じたら運動を控える

アキレス腱の損傷が疑われたら

- 応急処置として患部を冷やし、つま先を伸ばした状態で仮固定する
- すぐに整形外科を受診する

つま先を握り、ゆっくりグルグル回す

伸ばしたひざを軽く曲げ、かかとをつける

消防ミニ図鑑 No.36 「リングカッター」

「リングカッター」とは、長期間の使用やけがなどにより、指から抜けなくなった指輪を切断する道具です。指輪をはめていて、むくみやけがにより抜けられない状態のまま放置すると、強い痛みを感じるだけでなく、うっ血して、最悪の場合、指の切断といった事態になりかねません。「リングカッター」は、各消防署のほか、市内の一部宝石店にも備えてあるようです。状態によっては、指輪を切断せずに済む場合がありますので、もしもの時は問い合わせください。



【編集・問合せ先】=薩摩川内市消防局予防課(☎(22)0135) / <http://www.satsumasendai-fd.jp> 薩摩川内市消防局 検索

火災の発生しやすい時季となりました！

これからの季節は、空気が乾燥し、火気を取り扱う機会も増えることから、火災が発生しやすい時季となります。昨年は、10月から12月の3ヶ月間で、11件(うち6件が建物火災)の火災が発生しています。火災は少しの油断で発生することが多く、ひとたび発生すると、一瞬で大切な命や財産を奪ってしまいます。日頃から「火の用心」を心掛け、火災のないまちを目指しましょう。



この季節に多い火災原因と防止策

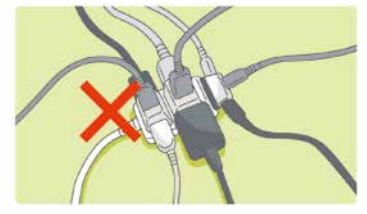
たき火・火入れ 農作業などに伴う枯草の焼却により、多く発生しています。

- ★発生防止3箇条
- その1 空気が乾燥しているときや、風の強い日は焼却しない。
 - その2 焼却する際は、消火器を準備し、その場から離れない。
 - その3 焼却は、必ず複数で行う。



電気 たこ足配線や古い電気コードのショートにより、多く発生しています。

- ★発生防止3箇条
- その1 たこ足配線は絶対にしない。
 - その2 延長コードは、使用できる電力量を守り、古くなったコードは使用しない。
 - その3 コードが家具などの下敷きになっていないか、定期的を確認する。



ストーブ 電気ストーブの消し忘れやガソリンの誤給油により、多く発生しています。

- ★発生防止3箇条
- その1 就寝する際は、必ずストーブを消してから。
 - その2 給油はストーブを消してから行い、ガソリンの誤給油に注意する。
 - その3 ストーブの周囲に、燃えやすい物を置かない。

